

受付番号

40

---

許可番号

大歯医倫 第 111007 号

研究課題名

歯性上顎洞炎の診断に関する単純エックス線撮影の有用性の検討

研究責任者

小滝 真也

申請者

小滝 真也

研究終了日

2020 年 3 月 31 日

所属

歯科放射線学講座

所属

歯科放射線学講座

職名

講師

職名

講師

申請の概要

---

現在まで歯科において、歯性上顎洞炎を疑う場合、単純エックス線撮影（パノラマエックス線撮影・Waters 法撮影）を CT 検査に先行し撮影することが多い。日本医学放射線学会の画像診断ガイドライン(2016 年版)では「成人副鼻腔疾患の診断に単純エックス線撮影は有用か?」との問いに対し、「単純エックス線撮影の施行を考慮してもよいが、診断に有用という科学的根拠は示されていない。」とされ、現時点で、副鼻腔炎に関して単純エックス線撮影は推奨されていない。そこで、本研究では 2015 年 11 月から 2018 年 5 月までに本学附属病院中央画像検査室で上顎洞炎の疑いのために単純エックス線撮影と同日に CT 撮影された患者 100 名を対象として、歯性上顎洞炎の際の診断に用いる適切なエックス線検査について検討することを目的とする。